

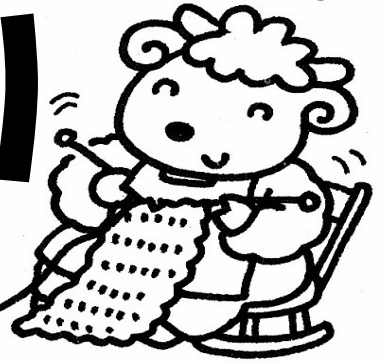


平成27年2月号



# 健康だより

稲田保育園



先日のお遊戯会では、会だけでなく健康管理にも御家庭の協力がありインフルエンザ等の心配もなく無事に行う事が出来ました。皆様の御協力に感謝しています。

これからの季節、まだまだ冷たい北風が吹き、寒さの厳しい日々が続きます。子ども達は寒さに負けず、元気いっぱい体を動かして遊んでいます。溶連菌感染症(下記を参考にして下さい)やインフルエンザなどの病気がまだまだ心配な時期ではあります。手洗いとうがいを積極的に行い病気に負けない体作りを、引き続き心がけていきましょう。

## 溶連菌感染症って?



溶血性連鎖球菌という細菌による感染症で、喉の痛みを伴う咽頭炎の約20%がこの菌が原因と言われる。3~10才くらいまでの子どもがかかりやすく、咳やくしゃみなどでうつります。

### <症状>

- ★ 発熱
  - ★ のどの痛み
  - ★ 首や胸、お腹に細かい発疹(かゆみを伴うことが多い)
  - ★ いちご舌(舌にイチゴ状の小さくて赤いブツブツとした発疹)
- ※必ずしも上記の症状が全て揃うとは限りません。



### <治療>

☆ 抗生物質を10日~2週間服用します。早い時期から服用するほど、治療効果があると言われています。

※ 回復後、まれに急性腎炎やリウマチ熱にかかることがあるので、医師の指示通りにしっかり服用しましょう。

## 1月の感染症

- ✿ インフルエンザA型 . . . 1名
- ✿ 溶連菌感染症 . . . 4名



# 子どもと中耳炎

3月3日は「耳の日」です。  
この機会に耳の事を知り、  
大切にしましょう。

中耳炎は乳幼児期に非常に身近な病気で、多くの子どもが中耳炎になり治療を受けています。きちんと治療をすれば、完治しますので心配は要りません。ただ、治療をしなかったり、治療を途中で中断したりすると後々聴力などに悪影響を及ぼします。以下を参考にいただき、おかしいな・・・?と思ったら、耳鼻科またはかかりつけ小児科を早目に受診しましょう。



## 《 子どもがかかりやすい耳の病気 》

★ 急性中耳炎・・・【原因】風邪に引き続き起こる事が多く、鼻や喉などのばい菌が中耳に入りこみ発病します。

【症状】◆中耳にウミがたまり中耳内の圧が高くなる事により、激しい痛みと発熱を伴います。

◆寝かせると頭の血めぐりが良くなり痛みが増すため、夜間に痛がる事が多いようです。

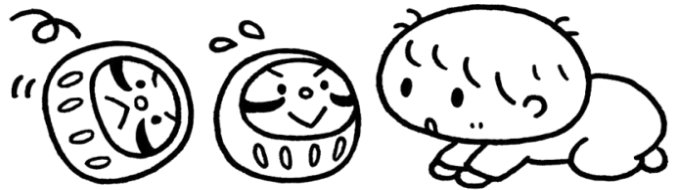
◆ウミの量が多くなり中耳の圧が異常に高くなると自然に鼓膜が破れ、ウミが出て（耳だれ）中耳の圧が下がるため痛みは突然消えてしまいます。

★ しんしゅつせい 滲出性中耳炎・・・【原因】中耳に水（浸出液）がたまる病気で、痛みはありません。鼻水が多い時に感染してかかったり、急性中耳炎に引き続きなってしまうことも少なくありません。

【症状】◆水が貯まることにより、鼓膜の響きが悪くなり聞こえにくく耳の詰った感じや自分の声が響くといったハッキリしない難聴の症状が続きます。

◆「呼んでも返事をしない」「よく聞き返す」「テレビの音を大きくする、近づいていく」場合が多くみられます。

## 《 こんな時は受診を・・・ 》



- ・耳だれがでた（耳の中がウミなどで湿っぽい） → 耳鼻科へ
- ・夜中に泣き出す。 → 耳だれがない場合は耳鼻科か小児科へ
- ・呼んでも返事をしない、何度も聞き返す → 耳鼻科へ

※ 多くの場合は風邪症状と関係しています。鼻水や咳など、小児科で治療中の場合は中耳炎が心配な場合、その旨を伝えると耳鏡（耳の中を診察する医療器具）で診てくれる事が多いので、受診の際は相談してみましよう。

※子どもは体の構造上、中耳炎にかかりやすいわけですが、成長と共に中耳炎にかかりにくくなっていきます。鼻もかめるようになることから、多くは小学校就学前には中耳炎にはなりにくくなります。もし中耳炎になった場合は根気強く治療し、完治させましよう。